

担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 東北復興商談会の開催

J A 名 J Aバンク宮城（宮城県）

1 動機 (経緯)	東日本大震災からおよそ 3 年が経過した今日においても、農業、水産業ともに復旧・復興の途上であり、震災復興の足取りをより確実なものにするためには、生産基盤に対する支援にとどまらず、販売面の復旧・復興を図ることが重要だと認識しており、第 3 回目となる復興商談会を開催しました。
2 概要	○開催日・場所 平成 26 年 2 月 19 日（水） 宮城県仙台市「江陽グランドホテル」 ○参加団体 （セラー団体） 東北 6 県の J A，農業法人，J F，水産加工会社等，計 49 団体 （バイヤー企業） 小売業，ホテル，食品メーカー，百貨店，ネット通販，運送会社等，計 65 団体 ○商談形式 あらかじめセラー団体およびバイヤー団体から商談ニーズのヒアリングし，事前に商談相手の組み合わせ行う事前予約商談を行いました。加えて，より機動的な商談が行えるよう，前回よりも自由商談時間を拡充しました。
3 成果 (効果)	○商談実績 商談件数（合計）：163 件 うち商談案件：12 件 商談継続案件：134 件 参加したセラー団体からは、「普段商談できない企業と商談できた」、「他団体の商品開発が勉強になった」等の意見が寄せられました。 バイヤー企業からは、「今後，さらに多くの東北セラーの参加が増えると嬉しい」、「県外のセラーからの話を聞くことができてよい」、「今後の営業にも役立つ」等の意見が寄せられました。
4 今後の 予定（課題）	今後も被災地に寄り添いながら，現場にニーズを汲み上げ，東北の農林水産業の復旧・復興の多面的な支援を継続してまいります。